

上新田小「校長室だより」 絆



座論梅

次年度以降の「小中一貫教育」の構想（案）について

上新田小新校舎の建設工事は、建物の外観がほぼ立ち上がり、現在は建物内部の工事に入っています。

また、上新田小と上新田中では、4月より「小中合同研修会」（月1回以上）を開催し、小中の職員と一緒に小中一貫教育校の開校に向けた準備を行っています。

本紙では、上新田における小中一貫教育の構想について、現段階での（案）を紹介いたします。

保護者や地域の皆様の思いを大切にしながら、「上新田ならではの小中一貫教育」を目指したいと考えております。

つきましては、本構想（案）につきまして、お気づきの点やご意見等がありましたら、遠慮なく学校までご連絡をいただきますと幸いです。何卒、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

上新田小・中学校の小中一貫教育の構想について（案）

1 校訓 「協和・向上」

2 学校の「教育目標」と～スローガン～

「心豊かで、たくましく、将来を生き抜く児童生徒の育成」
～ふるさとを大切に、夢を育む、みんなの『（学校名：通称）』～

3 教育活動の基本的な考え方

◎ 9年間を見通した教育目標のもとに、小中の職員全員が力を合わせ、地域のよさや教育資源を生かした教育活動を工夫し、一人一人の児童生徒に「夢」を育みながら、教育目標の具現化を図ります。

(1) 小規模校のよさを生かし、「上新田スタンダード」をもとに、9年間を見通したきめ細かな継続的な指導を行い、生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育み、主体的に学習に取り組む態度を育てます。

(2) 施設一体型小中一貫教育校のよさを生かし、異学年との様々な交流の機会を通して、上学年への憧れと下学年への思いやりの心を育て、豊かな心をもち主体的に学ぶ児童生徒を育てます。

(3) 地域のよさや教育資源を生かし、ふるさと上新田のよさに気づかせるとともに、様々な人々とのふれあいを通して、児童生徒に「自己有用感」と「夢」を育みます。

(4) 「4（小1～小4）・3（小5～中1）・2（中2～中3）のステージ制」も生かしながら、発達段階に応じて「主体的な学び」や「対話的な学び」、「協働的な学び」を取り入れ、「思考力・判断力・表現力等」を育みます。

4 特色ある教育活動

(1) 確かな学力を育むための教育活動
・「上新田スタンダード」をもとにした学習指導
・基礎学力コンテスト（スキルタイム、レベコン）
・教師の専門性を生かした乗り入れ授業 …等

(2) 小中一貫教育のよさを生かした教育活動
・9年間を通じた人権教育を基盤とする生徒指導・特別支援教育の推進
・小中合同による運動会・体育大会、文化祭・学習発表会
・小の児童会と中の生徒会が連動した児童生徒による主体的な活動
・縦割り（異学年混合）の班編制による清掃活動 …等

(3) 地域のよさや教育資源を生かした教育活動
・しんとみ読み語り ・稲作体験 ・座論梅の収穫 ・キャリア教育講演会
・茶摘み体験 ・菜の花プロジェクト（苗植え、種落とし） ・椎茸の駒打ち
・保育園での読み聞かせ ・地域探索 ・農業体験学習 ・職場体験学習 …等

※卒業生にも馴染みある校訓「協和・向上」を残し、今後も互いを大切に高め合う学校を目指します。

※将来、どんなことがあると、生き抜こうとする人を育てたいと思います。

※「（学校名：通称）」は、町教委が公募し決定するそうです。

※上新田独自に発達段階に応じた知・徳・体の到達目標（「上新田スタンダード」）を作成します。

※異学年間の交流を増やし、憧れや思いやりなどの気持ちを高めます。

※小6と中3に加え、A、B、Cの3つのステージのまとも生かし、子どもが活躍する機会を増やし、主体性やリーダー性を育てます。

※今後も、地域の皆様とふれあう機会を工夫します。

今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。

5 9年間の教育活動の連続性について

発達段階	小1	小2	小3	<u>小4</u>	小5	<u>小6</u>	<u>中1</u>	中2	<u>中3</u>
	Aステージ			Bステージ			Cステージ		
	《前期》 〔定着期〕 ※学級担任制			《中期》 〔活用期〕 ※段階的教科担任制導入			《後期》 〔発展期〕 ※教科担任制		
育てたい資質・能力と教育活動の連続性	【教育目標】 「心豊かで、たくましく、将来を生き抜く児童生徒の育成」 ～ふるさとを大切に、夢を育む、みんなの『（学校名：通称）』～								
	ふるさとのよさに気づき、「夢」を育むキャリア教育の推進 ☆様々な人々とのふれあいを通じた「自己有用感」の育成								
	※地域との関わりに気づく			※地域の理解を深める			※地域に貢献する		
	※自己と集団との関わりに気づく			※自己理解を深める			※自己を生かす		
	しんとみ読み語り参加⇒⇒⇒⇒ 1/2成人式 座論梅咲樓			宿泊体験学習 イトン田んぼ稲作体験 修学旅行 小・卒業式 農業体験 地域探索			修学旅行 職場体験学習 立志式 新富活性化 プロジェクト 中・卒業式		
	「上新田スタンダード」								
※小学校入学（義務教育の開始） 知：《望ましい学習習慣の定着》 徳：《基本的な生活習慣の定着》 体：《体力づくり、健康教育、食育の推進》									
①基礎的な知識及び技能の習得									
②知識・技能を活用し、課題を解決するために必要な力の育成 思考力、判断力、表現力等の育成									
③主体的に学習に取り組む態度の育成									
※発達段階に応じた「主体的・対話的・協働的な学び」の実践									
〔進路相談・進路選択〕 学力調査 ⇒ 実力テスト ⇒ 高校入試 ※中学校卒業（義務教育の終了）									

※小学校入学時（入口の段階）から中学校卒業時：高校入試（出口の段階）での子どもの姿をイメージしながら知・徳・体の学びの連続性を確保します。

※「夢」を持つこと自体が、生きるエネルギーとなり、困難を乗り越える力となります。

※「自己有用感」とは、「自分が他の人や社会のために役に立つという自信」のことで、将来の社会性の基盤となります。そのため、地域の方々など、多くの人々との心のふれあいが必要となります。

※低学年では、学習や生活の基盤づくりとなる「①基礎・基本」の定着を重視し、発達に伴い、基礎・基本を活用したり、応用したりする学習（主体的、対話的、協働的な学び）の機会を増やし、9年間を通して「②思考力、判断力、表現力等」や「③主体的に学ぶ態度」を育成します。

※左表中の①、②、③の項目は、学校教育法第30条に示される【学力の3要素】です。

9カ年を通し、知・徳・体のバランスのとれた成長を促します。



☆ 本（案）へのお気づきの点やご意見等がありましたら、是非、校長までお寄せください。

Tel 35-1017（上新田中） 35-1016（上新田小）